

○景観法・景観条例等の運用状況

平成30年3月末現在

		前年度まで	H29年度	累計	備考
景観 条 例	眺望点指定	2件	0件	2件	・中央公園眺望点 ・くりはま花の国眺望点
	景観推進地区指定	1件	0件	1件	・横須賀見晴らしの丘景観推進地区
	地区景観協議会認定	0件	0件	0件	
	景観審議会開催	23回	2回	25回	第1回 H16.7.28 開催
	専門部会開催	150回	12回	162回	毎月1回開催
	民間の建築等計画	141件	6件	147件	
	公共の建築等計画	33件	2件	35件	
	建築等計画以外	145件	3件	148件	景観法や景観条例の運用等
	表彰	35件	0件	35件	すかまち景観デザイン賞 景観デザイン部門市長特別賞 (H28～隔年実施)
	助成	0件	0件	0件	
勧告及び公表	1件	0件	1件		
景観協議	853件	87件	940件	民間 H21.7.1～公共 H27.7.1～	
景 観 法	届出及び通知 ※	1612件	86件	1698件	
	景観重要建造物指定	0件	0件	0件	
	景観重要樹木指定	26件 (182本)	2件 (53本)	28件 (235本)	
景観重要公共施設の整備に関する事項	1件	0件	1件	うみかぜの路景観重要道路	
要 綱	色彩協議	976件	215件	1191件	H23年度からカウント

※ 平成18年6月30日までは景観条例（自主条例）、平成18年7月1日からは景観法の運用となります。

1 景観法・景観条例等の指導について

(1) 景観パトロールの実施（13回実施21件指導、その内17件景観法届出対象）

足場の掛かっている景観法の届出が必要となりそうな建物に対し、直接現場で手続きを行うよう指導をしている。

2 景観法・景観条例等の周知について

(1) 広報よこすか記事掲載（10月）

(2) 市内塗装業者および市登録建設業者へDM（10月）

(3) 景観パトロール（随時）

(4) 横須賀市労働基準監督署への景観協議・景観法届出パンフレットの配布

（平成29年6月～）

3 景観重要樹木の指定について

平成 30 年 3 月 31 日に 2 か所（53 本）の景観重要樹木を指定した。

また、神奈川歯科大学のジャカランダについては、民間所有の樹木を初めて指定した。



（沢山小学校：つつじ（52 本））



（神奈川歯科大学：ジャカランダ（1 本））

○景観法・景観条例等以外の景観に関する業務

1 景観推進指導業務（8 件）

（1）公共サイン等の指導（3 件）



J R 横須賀駅前タクシーのりば（色彩指導前（案））



J R 横須賀駅前タクシーのりば（色彩指導後）

（2）建築物等の色彩指導（5 件）

2 地域毎の景観指導に向けた業務

これまで良好な街並み景観の形成を図るため、「景観法」「横須賀市景観条例」「横須賀市景観計画」に基づき、景観協議や景観法の届出を通じて事業者に対し指導・助言を行ってきた。一方、市全域共通のルール（色彩基準と基本指針）とすることがふさわしくない街並み変化が予想される地域や特色のある地域の将来像に向けた景観づくりについて、積極的な指導を行うため、地域ごとのルールを策定し、建築行為前に事業者に対し周知や指導を行っていくことを目指す。

(1) 横須賀中央エリアまちづくり検討会議の開催

「横須賀中央エリア再生促進アクションプラン」の取り組みにより、土地の高度利用や土地利用転換、都市空間の向上が期待されるエリアのため、将来像として魅力的で価値の高いまちづくりや景観づくりを求められる。

平成 26 年度から地元商店会や町内会を中心とした構成員 14 名で、「横須賀中央エリアまちづくり検討会議」を組織し、エリアの今後の更なる活性化を図るべく、建物の建て方のルール作り及びその運用に向け、検討会議を行っている。

平成 29 年度は 8 回の検討会議、3 回の詳細部会を実施し、前年度(検討会議全 16 回)までの意見を踏まえ、まちの方向性や方向性に対する解決策を意見交換等により精査し、平成 30 年 3 月にガイドラインを完成させた。

平成 29 年 5 月 12 日に「横須賀中央エリアまちづくりガイドライン中間とりまとめ説明会」を実施した後、平成 30 年 3 月 23 日に「横須賀中央エリアまちづくりガイドライン」の完成説明会を実施した。

今年度は、ガイドラインの具体的な運用方法について検討していく方針である。



(平成 30 年 3 月 23 日中央エリアまちづくりガイドライン完成説明会の様子)

3 啓発業務

(1) 第6回よこすか景観まちあるき「横須賀中央・汐入編」の実施

ア 実施目的

近年横須賀の中心市街地・横須賀中央エリアでは、めまぐるしく街並みに変化している。一方で横須賀中央エリア山側には、昔ながらの谷戸エリアが広がっている。横須賀中央～汐入地区の山側を徒歩で巡り、変化している横須賀中央エリアの街並みを尾根から望むことで、景観に対する意識をさらに高めるとともに、横須賀らしさの発見やよりよい景観、心地よい街並みづくりに貢献するきっかけづくりを目的とした。

イ 実施概要

「よこすか景観まちあるき横須賀中央・汐入編」は、景観まちあるきイベントの第6回として、平成29年10月25日(水)に、公募した10名を対象に、横須賀中央駅～サンコリーヌタワー横須賀中央駅前～ザ・タワー 横須賀中央～横須賀中央谷戸エリアのまち歩きを実施した。

なお横須賀建築探偵団が共催して、当日の案内、サポート、参加者の保険を担当してもらい、一般財団法人みなと総合研究財団の吉田氏にも案内をしてもらった。



4 よこすか都市景観協議会の運營業務

(1) よこすか都市景観フォーラムの開催

- ア 開催日 平成30年2月18日(日)
- イ 場所 ヴェルクよこすか
- ウ テーマ 横須賀らしいまちづくり ～谷戸を歩く～
- エ 参加者 94名(一般、よこすか都市景観協議会関係者等)
- オ 内容 第23回よこすか都市景観フォーラム
 - ◆講演 / 谷戸で始めた新しい生活・空き家をいかした空き家の有効活用
(有)日栄建設・谷戸再生プロジェクト代表 比護 友一氏
 - ◆発表1 / 谷戸ワクワク探検マップ
横浜市立大学国際総合科学部 2年 デイビス 美也那氏

◆発表2/ 谷戸を”体験”する

横浜市立大学国際総合科学部 4年

永田 麻果氏

◆パネルディスカッション

コーディネーター：TERA歴史景観研究室代表

最勝寺 靖彦氏

パネリスト：よこすか都市景観協議会代表幹事

大川 謙一氏

谷戸再生プロジェクト代表

比護 友一氏

横浜市立大学国際総合科学部 3年

太田 春菜氏

(2) 景観まちあるきの実施

ア 開催日：①平成29年12月17日(日)

②平成30年1月27日(土)

イ 参加者：①41名(横浜市立大学まちづくりコース学生)

②10名(一般公募市民)

ウ 場所：①と②共に汐入の谷戸を中心に散策。

エ 内容：谷戸の景観を巡り良かったことや改善した方がよいこと、気付いたことなどをマップに落とし込み、谷戸景観マップを作製した。
また、作成した景観マップを元に都市景観フォーラムで発表、パネル展示を行った。



(3) すかまち景観デザイン賞

ア 募集期間：平成30年2月18日(日)～9月30日(日)

イ 募集部門：①景観デザイン部門

②海が見える坂道部門

ウ 表彰式：第24回都市景観フォーラム(平成31年2月頃)で表彰予定

(4) よこすか景観ニュースの発行、HPの更新

ア ニュース第18号の発刊（発行日：平成30年2月1日）

イ HPの更新（随時実施）

(5) 光のイベント実施の検討

ア 開催日：平成29年11月3日（金）～11月7日（火）の5日間

イ 来場者：74名（うち子ども15名）

ウ 場所：横須賀市文化会館3階 市民ギャラリー1（建築展内）

エ 内容：子ども向けのイベントとして光の三原色（赤、緑、青）の光を使って、遊びながら色について考えることを目的とした。
物や人に光の三原色が当たると、影が鮮やかに変化してくことを体感できるイベントとした。
来場者は少なかったが、子どもたちは楽しそうに遊んでいた。

